慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	津田, 利治(Tsuda, Toshiharu)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1965
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.38, No.12 (1965. 12) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	西本辰之助先生八十歳祝賀論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19651215-0005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

西本辰之助先生は、昨年八十歳になられ、今なお壮健で活躍しておられるので、之をお祝いして、門下の若手研究者たちが、先生のためこの記念論文集を刊行することになつた。ここに一言、祝辞を申述べるとともに、併せて今後なお末永く先生の謦咳に接しつつ、御教導にあずからんことを、偏に祈念する次第である。

先生は、明治四十年に慶應義塾法律科を卒業されると、そのまま商法学研究のため、母校に留まり、爾来引続き今日に至るまで、実に半世紀を超える永い年代を、真摯な学究生活と熱心な後進指導とに、一貫して当られてきた。ただ大平洋戦争中、非常措置により、一時教壇を離れられたことがあつたけれども、戦後間もなく復帰されて、現に大学名誉教授、学事顧問及び評議員などの要職にあり、かつ学部及び大学院の授業を担当しておられる。真にかけがえのない貴重な存在であられることは、何人も異論のないところであろう。

先生の専攻は商法学であり、従つてこれまでの業績も商法学の分野に多いのであつて、之によつて大正、昭和にかけて学界に揺ぎない地位を築かれたのであるが、しかし先生の博学は、単にこの分野のみに局限されたものではなく、広く基礎法学や公法学の領域にまで及んでいることは、後掲の目録によつても明かである。これら著作に示された先生の学風は、あくまで着実緻密であつて、それがそつくりそのまま先生のお人柄を現わしているように思われる。先

生の教室での講義も、ハッタリや冗談などは微塵もなく、従つて学生の間に低級な「人気」を惹きつける要素には乏しいかもしれないが、先生独特の和歌山訛で抑揚をつけ、諄々と説かれるあたりは、格調の高い名講義として、心ある聴講者には深い感銘を与えるのである。

先生の永い教壇生活の故に、今日在職する慶應義塾法律学科の専任者は、殆ど全部、その学生時代に直接、先生の薫陶を受けている。また以前には政治学科並びに理財科、経済学部の授業も担当しておられたので、現任の政治学科並びに経済学部、商学部の教授諸氏の内にも、先生の教えを受けた人が多数いるわけである。そして先生から見れば世代を隔てた若輩の我々が、今や既に老境をかこち勝ちな昨今であるが、先生の何時に変らぬ矍鑠たるお姿に接しては、無言の叱咤を受ける想いの切なるものがある。

慶應義塾の商法陣には、先には故青木徹二先生あり、今はこの西本辰之助先生あり、この両碩学の築かれた学問上の確固たる地歩は、今後我々後続の手でこれを維持し、発展せしめなければならないが、果して我々はこの重責を穢すことがないであろうか。此の際、覚悟を新にして、先生の学恩の万分に報いんことを期する所以である。

昭和四十年十月

津田利治